

## 記者発表資料

### 実施日統一の土曜一斉休工について (埼玉県i-Construction推進連絡会) ～平成30年度の実施結果をお知らせします～

- ◆ 建設業界は担い手不足が懸念されており、埼玉県i-Construction推進連絡会において、若手技術者の確保・育成を中心とした将来の担い手確保につながる取り組みを進めています。
- ◆ 建設現場における「週休2日制」の確保を目指し、祝日の月曜日や金曜日を休めば3連休となる土曜日の5回を指定し、一斉休工の取り組みを行いました。
- ◆ 各実施日の取組状況をまとめたことから、結果についてお知らせいたします。

#### 【土曜一斉休工の実施結果】

- ・実施回数は昨年度の2回に対し、今年度は計5回実施
- ・休工した割合は、87%～92%と約9割の実施率
- ・昨年度の実施率が90%であったことから、2年続けて約9割の達成を維持
- ・残り1割の休工できなかった理由として、「工程上、休工にすることが出来なかった」ことが、昨年度のアンケート結果から分かっており、今回も同様と考えられる。

こうした結果を踏まえ、引き続き適正な工期の設定や施工時期の平準化に努めていくとともに、今後もこの取組を継続する方向で、埼玉県i-Construction推進連絡会において調整を進めてまいります。

この取組は、平成29年10月に関東地方整備局が公表した「“地域インフラ”サポートプラン関東2017」で示した取組1「週休2日の取り組みを情報共有し、働き方改革を応援する」と取組6「生産性の向上」に対応したものです。

**【“地域インフラ”サポートプラン関東2017】については、以下のホームページをご覧ください**

<http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/index00000023.html>

#### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ、さいたま市政記者クラブ

#### 問い合わせ先

埼玉県i-Construction推進連絡会

代表(事務局) 国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所

副所長(技) 中島 祥行(なかじま よしゆき) 電話 048-669-1200(代)

総括保全対策官 俣島 信一(またじま しんいち)

# 実施日統一の土曜一斉休工 平成30年度の実施結果

(埼玉県i-Construction推進連絡会)

## 1. 埼玉県i-Construction推進連絡会について

〔目的〕 県内におけるi-Constructionの円滑な推進を図ることを目的とする。

〔設立〕 平成29年2月

〔構成〕 県内の地整事務所、埼玉県、さいたま市及び（一社）埼玉県建設業協会

## 2. 一斉休工に関する経緯

H29. 9. 5 平成29年度第1回埼玉県i-Construction推進連絡会において、実施日統一の土曜一斉休工に取り組むことを決定

H29. 10. 7、H29. 11. 4 平成29年度 土曜一斉休工の実施

H30. 5. 28 平成30年度第1回埼玉県i-Construction推進連絡会において、実施日統一の土曜一斉休工を年5回取り組むことを決定  
(実施日 7/14、9/15、9/22、10/6、11/24)

## 3. 対象工事

推進連絡会の構成機関のうち、発注者となる利根川上流河川事務所、荒川上流河川事務所、二瀬ダム管理所、大宮国道事務所、北首都国道事務所、埼玉県、さいたま市 が発注した工事で、実施日において稼働中の工事を対象。

## 4. 平成30年度における一斉休工の実施状況

実施日	対象工事数(件)	実施工事数(件)	実施率(%)
H30.7.14(土)	749	688	92
H30.9.15(土)	880	771	88
H30.9.22(土)	881	763	87
H30.10.6(土)	932	817	88
H30.11.24(土)	1035	897	87

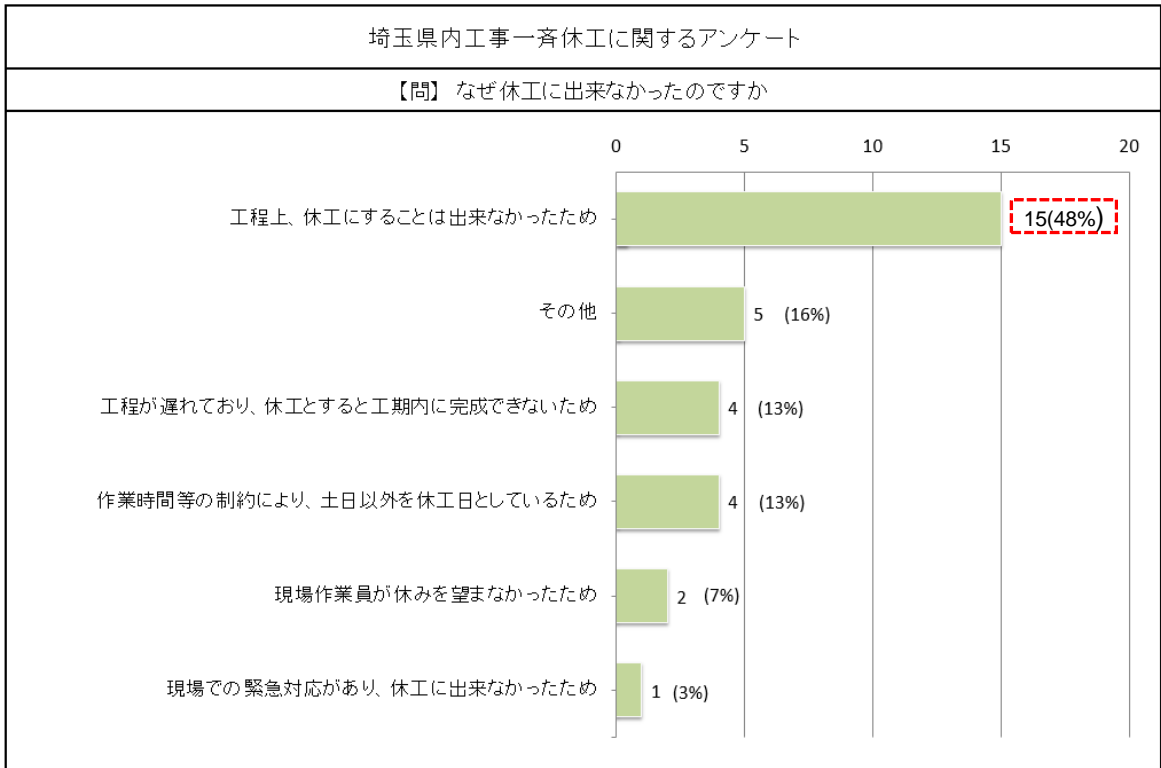
**参考①** 平成29年度における土曜一斉休工の実施状況

第1回目 実施日 H29. 10. 7 実施率 90%

第2回目 実施日 H29. 11. 4 実施率 90%

**参考②** 平成29年度アンケート結果の抜粋（休工しなかった理由）

昨年度、受注者を対象に一斉休工に関するアンケートを実施し、その中で、休工できなかった理由の約5割が工程上、休工にすることが出来なかったと回答。



単位: 件

参考) 平成30年度に受注者へのアンケートは実施していない。